

TCC×SDGs Report 2024



Japan.
Committed
to the SDGs

地方創生 SDGs
官民連携
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

目次

◆本レポートについて	2
◆これまでの主な歩み	2
◆SDGsカンファレンスの開催	3
◆SDGs AICHI EXPO 2024への出展	4
◆TCC×SDGsパートナーシップ協定	5
◆SDGsパートナーとの取組み	6
・(株)東海維持管理工業様でのカードゲーム開催支援	
・日本樹木医会長野県支部研修会での環境DNA講演	
・水と流域・地球市民フォーラム in Tokyo2025への参加	7
・Instagramでの情報発信	
◆2024年度SDGsプロジェクト	8
◆SDGs経営の実現に向けて	22

本レポートについて

SDGsは持続可能な社会を実現するための世界共通の課題・目標であり、この達成に貢献することが当社自らの持続的な成長に繋がると考えています。

本レポートは、当社の2024年度のSDGsへの取り組みを紹介するものであり、本レポートを通じて、SDGsの達成に貢献する方々とのパートナーシップのきっかけになれば幸いです。

これまでの主な歩み

2019年度

- 6月 SDGsの全社展開スタート
- 7月 TCC×SDGsプロジェクト開始
- 9月 2019年度SDGsカンファレンス開催

2020年度

- 10月 地方創生SDGs官民連携プラットフォーム(内閣府)へ参加
- 1月 JAPAN SDGs Action Platform(外務省)へ参加
- 2月 TCC×SDGsパートナーシップ協定運用開始
- 3月 SDGs AICHI EXPO 2020 オンライン開催へ出展

2021年度

- 6月 TCC×SDGsパートナーシップ協定 第1号締結
- 6月 SDGs de 地方創生公認ファシリテーター2名養成

2022年度

- 5月 新たなトップコミットメントを宣言

2023年度

- 9月 社内SDGsセミナー、SDGs de 地方創生カードゲームの開催
- 10月 DMM Agri Innovation様と「獣害対策事業に関する業務提携契約書」を締結
- 1月 TCC×SDGsパートナーシップ協定 10社達成

2024年度

- 6月 2024年度第1回SDGsカンファレンス開催
- 6月 当社Instagram開設
- 10月 SDGs AICHI EXPO2024へ出展
- 11月 (株)東海維持管理工業様でのSDGs de 地方創生カードゲーム開催支援
- 12月 2024年度第2回SDGsカンファレンス開催
- 2月 日本樹木医学会長野県支部研修会での環境DNA講演開催
- 2月 水と流域・地球市民フォーラム in Tokyo 2025でポスター発表

SDGsカンファレンスの開催

6月及び12月に、本店6階講堂にてSDGsカンファレンスを行いました。この催しは、SDGs活動の活性化を目的に、2019年より毎年開催しています。

第1回は6月3日に開催し、全27件のSDGsプロジェクトを、エネルギー関連、環境関連、働きがい・パートナーシップ関連の3つのセッションに分けて発表しました。また、(株)東海維持管理工業様より、SDGsと女性活躍をテーマに講演していただきました。

第2回は12月9日に開催し、当社とSDGsパートナーシップ協定を結んでいる皆さまにもご参加いただき、各企業・団体の取組みや最新動向が共有されました。また、10月に行われた「SDGs AICHI EXPO 2024」の出展物紹介やポスターセッションも行われ、参加者同士の交流が活発に行われました。

第1回（6月3日開催）



特別講演
(株)東海維持管理工業 中林副社長

第2回（12月9日開催）



「SDGs AICHI EXPO 2024」
出展物紹介

SDGs AICHI EXPO 2024への出展

10月10日～12日の3日間、愛知県国際展示場で「パートナーシップで創造する新たな可能性」をテーマに開催された「SDGs AICHI EXPO 2024」に出展しました。

このイベントでは、約120団体がSDGs達成に向けた取組みを発信し、交流を深めました。

当社は「エネルギーと環境に向き合い、技術力で未来を拓く」をテーマに、環境教育プログラムの実演や自然共生サイト認定のコンサルティング、バイオマス発電所の運転に関する業務紹介、「テクノ中部本店ビル屋上ビオトープ」のジオラマ模型、木質バイオマス燃料のサンプル、電動輪車などの展示を行いました。

さらに、中電ウイング様の花苗のプレゼントや、パートナー企業であるEqubo様のカカオティーの試飲なども行い、多くの方で賑わいました。

また、新聞社やテレビ局からの取材も受け、充実した広報活動を実施することができました。

3日間で778名の方が当社ブースを訪れ、来場者によるブースへの人気投票では3位を獲得しました。



環境教育プログラムの実演



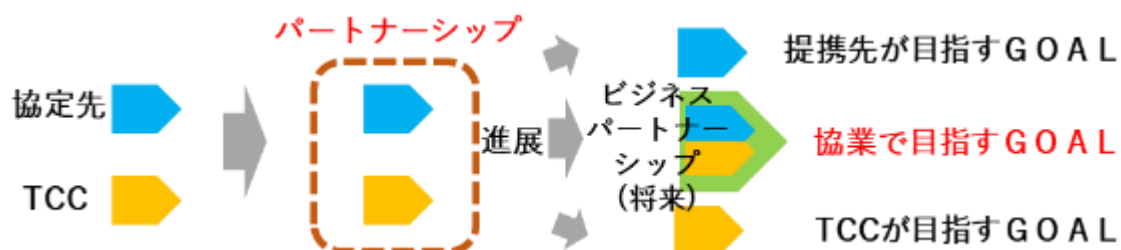
テクノ中部本店ビル屋上ビオトープ
ジオラマ模型



Equbo(マリヤ運輸(有))様の
カカオティー試飲

TCC×SDGsパートナーシップ協定

SDGsにおいては、官民をはじめ、学校、NGO・NPO、企業等多様なパートナーと連携することが推奨されています。本協定の取組みは、協定先の企業・団体等およびそれらで構成するネットワークにおいて、SDGsの取組みを相互に支援、協力することで、その活動等を発展させていくことをねらっています。



2025年3月時点で、当社は以下に示します11社とパートナーシップ協定を締結しております。今後も引き続き、多様なパートナーとの連携を強化し、社会課題の解決、SDGs達成に貢献してまいります。

協定締結先（敬称略/締結順）	関連ゴール
文吾林造園株式会社（長野県飯田市）	11 持続可能な都市とコミュニティ、15 陸の生態系、17 パートナーシップで目標を達成しよう
株式会社ダイセキ環境ソリューション（愛知県名古屋市中区）	11 持続可能な都市とコミュニティ、14 海の生態系、15 陸の生態系、17 パートナーシップで目標を達成しよう
三光株式会社（鳥取県境港市）	4 質の高い教育をみんなに、11 持続可能な都市とコミュニティ、12 つくすもの、14 海の生態系、15 陸の生態系、17 パートナーシップで目標を達成しよう
五大エージェンシー株式会社（愛知県名古屋市中区）	6 安全な水とトイレを世界中に、8 働きがいのある人間らしい経済、11 持続可能な都市とコミュニティ、15 陸の生態系、17 パートナーシップで目標を達成しよう
株式会社千代田テクノロ（東京都文京区）	7 持続可能なエネルギー
西川コミュニケーションズ株式会社（愛知県名古屋市中区）	3 持続可能な健康と福祉、8 働きがいのある人間らしい経済、11 持続可能な都市とコミュニティ、12 つくすもの、13 気候変動に具体的な対策を、14 海の生態系、15 陸の生態系
マリヤ運輸有限会社／Equbo（エクボ）（愛知県小牧市）	1 平和と公正、2 質の高い教育をみんなに、3 持続可能な健康と福祉、4 質の高い教育をみんなに、8 働きがいのある人間らしい経済、10 公平な社会と経済、11 持続可能な都市とコミュニティ、16 平和と公正
株式会社農力向上研究所（愛知県名古屋市中区）	1 平和と公正、2 質の高い教育をみんなに、3 持続可能な健康と福祉、8 働きがいのある人間らしい経済、15 陸の生態系
株式会社NEVER（愛知県豊川市）	4 質の高い教育をみんなに、8 働きがいのある人間らしい経済
中部大学 国際ESD・SDGsセンター（愛知県春日井市）	4 質の高い教育をみんなに、7 持続可能なエネルギー、13 気候変動に具体的な対策を、14 海の生態系、15 陸の生態系、17 パートナーシップで目標を達成しよう
株式会社東海維持管理工業（愛知県名古屋市中区）	6 安全な水とトイレを世界中に、9 産業とインフラの基盤をつくろう、11 持続可能な都市とコミュニティ、14 海の生態系

SDGsパートナーとの取り組み

■ (株)東海維持管理工業様でのカードゲーム開催支援

11月30日に、SDGsパートナーシップ協定先である(株)東海維持管理工業様からの依頼により、“SDGs de 地方創生カードゲーム”が開催され、当社の公認ファシリテーターらが開催支援を行いました。

このゲームは、参加者が協力して戦略を考え、経済・環境等のバランスを考慮しながら目標達成を目指すシミュレーション型のゲームです。参加者は目標達成のために活発に交流し、和やかな雰囲気の中SDGsへの理解を深めました。



■ 日本樹木医会長野県支部研修会での環境DNA講演

2月8日、当社とSDGsパートナーシップ協定を締結している文吾林造園様からのご依頼により、日本樹木医会長野県支部の新年研修会にて、「環境DNA分析による外来カミキリムシの生息判定」をテーマに講演を行いました。

会場は塩尻市のえんパークで、約50名が参加しました。

講演後は、「分析に際してフラスの取り扱いの注意点は？」「結果がわかるまで何日程度必要？」等、時間一杯までご質問を頂きました。また、休憩時間にもたくさんお声がけ頂き、情報交換させて頂くことができました。

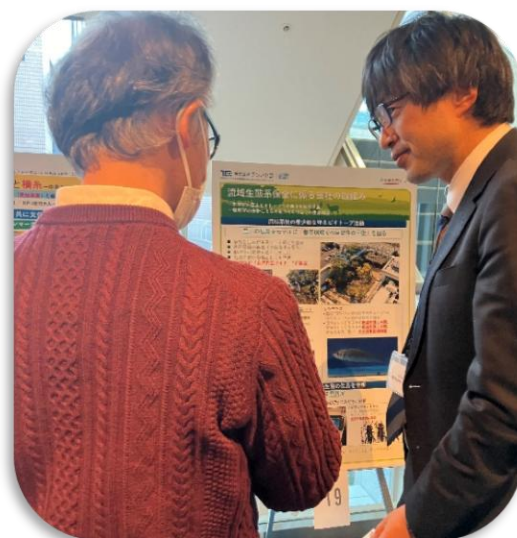


■ 水と流域・地球市民フォーラム in Tokyo2025への参加

2月22日にSDGsパートナーシップ協定先である中部大学様の主催により、国連大学ウ・タント国際会議場（東京都）にて「水と流域・地球市民フォーラム in Tokyo 2025」が開催されました。

当社からは、環境技術センター花井副長が参加し「流域生態系保全に係る当社の取り組み」についてポスターセッションを行いました。

会場には約200名が集まり、水資源の持続可能な管理や流域環境の保全について、専門家による講演やパネルディスカッションが行われました。



■ インスタグラムでの情報発信

6月より、当社のInstagramアカウントを開設しました。運営には、SDGsパートナーシップ企業である(株)NEVER様のサービスを活用しました。

投稿内容は主にSDGsに関する情報を中心に、一般的な知識や当社のSDGsプロジェクトの紹介を行いました。年度内には約120の記事を投稿し、定期的に情報を発信することができました。

また、10月に行われたSDGs AICHI EXPO 2024でもインスタフォローキャンペーンを行い、当社の認知度を高めることができました。



(株)テクノ中部公式アカウント



SDGs AICHI EXPO2024
キャンペーン用ポップ

2024年度 SDGsプロジェクト

No.	プロジェクト名	関連ゴール
1	安全・品質・かいぜんキャラバン	7 持続可能なエネルギー 8 持続可能な産業と雇用
2	good Drive	3 持続可能な都市とコミュニティ
3	取引先とのパートナーシップでSDGs達成の更なる推進！	3 持続可能な都市とコミュニティ 11 持続可能な都市とコミュニティ 12 持続可能な消費と生産 17 持続可能なパートナーシップ
4	カーボンニュートラルプロジェクト	7 持続可能なエネルギー 9 持続可能な産業と雇用 11 持続可能な都市とコミュニティ 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動への対応 17 持続可能なパートナーシップ
5	資材契約によるコストダウン	8 持続可能な産業と雇用
NEW 6	部内回覧資料のペーパーレス化	8 持続可能な産業と雇用
7	Public relations (Tcc2024)	4 質の高い教育をみんなに 8 持続可能な産業と雇用 17 持続可能なパートナーシップ
8	SustainaDX	4 質の高い教育をみんなに 8 持続可能な産業と雇用 9 持続可能な産業と雇用
9	TDP ～テクノ・ダイバーシティ推進・プロジェクト～	4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等をすすめる 8 持続可能な産業と雇用 17 持続可能なパートナーシップ
10	「風車の守人」	7 持続可能なエネルギー
11	灰カツ	9 持続可能な産業と雇用 11 持続可能な都市とコミュニティ 12 持続可能な消費と生産
12	ENERGY (電力・ガス) の安定供給に貢献	7 持続可能なエネルギー
13	海上輸送の低炭素化に挑戦	7 持続可能なエネルギー 9 持続可能な産業と雇用 11 持続可能な都市とコミュニティ 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動への対応 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう
NEW 14	積地質主代理人のダイバーシティ & インクルージョン	5 ジェンダー平等をすすめる
15	碧南事業所 品質不適合なしの継続によりお客さま信頼度のさらなる向上を図ろう	7 持続可能なエネルギー 9 持続可能な産業と雇用
16	「定時の文化」の定着プロジェクト	5 ジェンダー平等をすすめる 8 持続可能な産業と雇用
17	屋上ビオトープ管理運営	4 質の高い教育をみんなに 15 陸の豊かさも守ろう 17 持続可能なパートナーシップ
18	海ぶどう	2 質の高い生活環境をみんなに 7 持続可能なエネルギー 8 持続可能な産業と雇用 9 持続可能な産業と雇用 13 気候変動への対応 14 海の豊かさを守ろう
19	環境・海事の技術で洋上風力を実現	7 持続可能なエネルギー 8 持続可能な産業と雇用 9 持続可能な産業と雇用 11 持続可能な都市とコミュニティ 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動への対応 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう 17 持続可能なパートナーシップ
20	ドローン活用プロジェクト	7 持続可能なエネルギー 9 持続可能な産業と雇用 11 持続可能な都市とコミュニティ 15 陸の豊かさも守ろう 17 持続可能なパートナーシップ
21	プロジェクトGENE	3 持続可能な都市とコミュニティ 4 質の高い教育をみんなに 9 持続可能な産業と雇用 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう
22	クロダイ食害対策プロジェクト	9 持続可能な産業と雇用 14 海の豊かさを守ろう 17 持続可能なパートナーシップ
23	アスベスト調査ならお任せ下さい！	3 持続可能な都市とコミュニティ 11 持続可能な都市とコミュニティ 12 持続可能な消費と生産 16 平和と公正な社会を築こう 17 持続可能なパートナーシップ
24	PCB機器の適正処分	3 持続可能な都市とコミュニティ 11 持続可能な都市とコミュニティ 12 持続可能な消費と生産 17 持続可能なパートナーシップ
25	唯一無二の原子力防災体制を構築	7 持続可能なエネルギー 11 持続可能な都市とコミュニティ 17 持続可能なパートナーシップ
26	浜岡前面海域・豊かな海 藻場と磯根資源の回復を目指して	12 持続可能な消費と生産 14 海の豊かさを守ろう
27	浜岡原子力発電所で発生する放射性廃棄物の削減に取り組み、クリーンなエネルギーである原子力発電の再稼働に貢献しよう！	4 質の高い教育をみんなに 7 持続可能なエネルギー 9 持続可能な産業と雇用 11 持続可能な都市とコミュニティ 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動への対応 17 持続可能なパートナーシップ

Project No.1

安全・品質・かいぜんキャラバン



【活動実績】

安全・品質部

【取組み実績】

- 社内全部署を訪問（全21部署；2024年7月～10月）
 - ① 意見交換や現場パトロールによる良好事例や困りごとの把握
- 安全・品質
 - ① 4つの行動指針の認識度向上に関するディスカッション
 - ② 品質内部監査の実施方法・状況の確認・意見交換
- かいぜん
 - ① 「業務マップ」および「かいぜん相談会事前シート」を用いたかいぜん活動の進捗確認
 - ② かいぜん活動に対する疑問や困りごとの把握



各部署との意見交換

Project No.2

good Drive



【活動実績】

安全・品質部

安全運転のための10のルールの実践

（徹底して守る10のルールとコメントリーの実施例）

項目	実施内容	留意	コメントリー実施例
【乗車前】	① 車両と周囲の確認	車両の状態（油等）の確認を含む	「周囲よし」
【発進前】	② 各種表示灯の確認と調整	調整はルームミラー、ドアミラーおよびシート	「調整よし」
【発進時】	③ 右後方の目視確認と右ウィンカーの指示	発進時の基本動作	「右後方よし」
【走行中】	④ 車間距離	追突された時に多量事故にならないように	「車間距離注意」
	⑤ 横断歩道手前での一時停止または徐行	歩行者保護	「歩行者注意」
	⑥ 右・左折、車線変更時の確認と適切な合図	他車に迷惑をかけない・30m手前で合図	「対向車注意」「巻き込み注意」
	⑦ 交差点	進入時の確認	「信号注意」「歩行者注意」
【停車中】	⑧ 後方確認	追突を想定した姿勢	「車間距離注意」「後方注意」
【後進時】	⑨ 後方の目視確認、同乗者による誘導	後方の状況確認	「後方注意」「周囲よし」
【駐車時】	⑩ 隣の車との車間距離	他車に迷惑をかけない	「周囲よし」

※全般 コメントリー運転の実施

- 上記内容を周知
- コメントリーについては毎月重点事項として周知

○同乗指導者（本店）に対して「安全運転の基本」を教育した
2月10日～25日（計3日）
受講者：8名



Project No.3

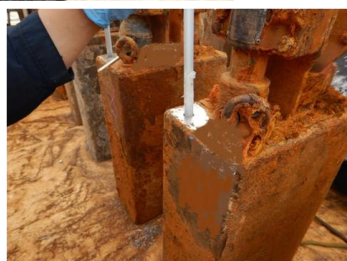
取引先とのパートナーシップでSDGs達成の更なる推進！



活動実績

営業部

～【大手通信事業会社様はじめ多数のPCB分析、廃棄物処分支援を実施しました。】～



【PCB 分析・試料採取 実績例】

【PCB 廃棄物の処分支援業務 搬出実績例】

Project No.4

カーボンニュートラルプロジェクト



【活動実績】

営業部



2024年度

- 自動車内装部品製造工場の現地調査、省エネ診断を実施
- 金属加工工場の現地調査、省エネ診断を実施
- 2025年度SHIFT事業支援機関である中部電力ミライズ様の副支援機関として登録
- 炭素会計アドバイザー2級（環境5名）、3級（環境1名、火力2名、営業3名）を取得

脱炭素コンサルティング
の受託開始

2023年度

- 製造業へのサービス展開を目的とした商材拡充検討チーム「製造業向け脱炭素コンサル」を発足
- 工場の省エネ診断と、複雑な排出量算定のスキル獲得に向けた勉強会等を実施
- 印刷工場の現地調査、省エネ診断を実施
- SDGs AICHI EXPO 2023での展示
- 自社の脱炭素ロードマップの策定支援
- 炭素会計アドバイザー3級を取得（環境5名）



2022年度

- 生コン製造会社3社にサプライチェーン排出量の算定支援、削減目標の設定、ロードマップ策定支援を提供
- 「脱炭素コンサルティング」のリーフレットを作成
- SDGs AICHI EXPO 2022、メッセナゴヤ2022での展示、当社HPへ掲載
- 炭素会計アドバイザー協会へ入会し、3級講習を受講（環境5名・営業4名）



Project No.6

部内回覧資料のペーパレス化



【活動実績】

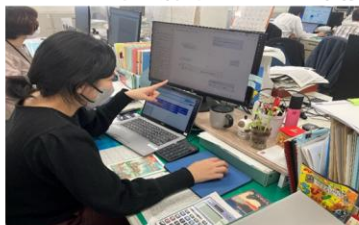
経理部

2024年度の取り組み「部内回覧文書のペーパレス化」

■取組前：文書を印刷して部内回覧



■取組後：チャット等を活用してデータ回覧



→ **印刷枚数の削減** + 迅速な情報共有・資料作成を実現



今後の
方向性

業務運営の持続性を重視

→ 税務申告業務や資材業務など、**スキル保有者が少ない分野の人財育成、部員の成長を推進**

Project No.7

Public relations (Tcc2024)



【活動実績】

マネジメントサービス部

○外販顧客獲得に向けたホームページの作成・改修



業種別サービスのご案内

当社で提供する様々なサービスをお客さまの業種別にご紹介します。

[詳しくはこちらへ](#)

事例・実績のご紹介

【事業・業種カテゴリから探す】

すべて

施設管理業務

環境・社会貢献活動

環境アセスメント・コンサルティング

環境影響評価

環境モニタリング

環境調査

環境教育

環境相談

環境対策

環境改善

環境保全

環境整備

環境管理

環境監視

環境評価

環境診断

環境検査

環境測定

環境分析

環境報告

環境記録

環境資料

環境情報

環境データ

環境画像

環境動画

環境音声

環境文字

環境図表

環境グラフ

環境マップ

○認知度向上を目的としたインスタグラムの投稿



水生生物の調査 投稿



バーン



○社内報の発行



アスベスト（石綿）の事前調査・分析



アスベスト（石綿）の事前調査・分析

アスベスト（石綿）の事前調査・分析

アスベスト（石綿）の事前調査・分析

アスベスト（石綿）の事前調査・分析

アスベスト（石綿）の事前調査・分析

アスベスト（石綿）の事前調査・分析

アスベスト（石綿）の事前調査・分析

アスベスト（石綿）の事前調査・分析

アスベスト（石綿）の事前調査・分析

アスベスト（石綿）の事前調査・分析

アスベスト（石綿）の事前調査・分析

アスベスト（石綿）の事前調査・分析

アスベスト（石綿）の事前調査・分析

アスベスト（石綿）の事前調査・分析

アスベスト（石綿）の事前調査・分析

アスベスト（石綿）の事前調査・分析

アスベスト（石綿）の事前調査・分析

アスベスト（石綿）の事前調査・分析

Project No.8

SustainaDX



【活動実績】

マネジメントサービス部

2024年度までの取り組み

M365・Teamsの導入

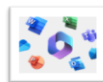
ICT活用情報共有

ITパスポート紹介サイト

トピックスの掲示(パソコン活用のヒント)

イットbuilderの説明会開催や Q&A・情報共有サイト

生成AIの活用支援



今後の展望

会社全体のITリテラシ向上を目指して、管理職、中堅層、担当者それぞれに適した教育題材・啓発題材を提供し続ける。

Project No.9

TDP ～テクノ・ダイバーシティ推進・プロジェクト～



【活動実績】

働き方統括部



企業説明会の様子



インターンシップでの屋上ビオトープでの生物採集の様子

Project No.10

「風車の守人」



【活動実績】

【「風車の守人」関連ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに】

当社は2006年から「グリーンエナジーたはら」（GETと略します）に出資しており、出資者として風力発電の施設管理を通じて、クリーンエネルギー供給の一翼を担っています。

SDGsには2019年「風車の守人」として参加し、GET関係者、碧南事業所保安従事者、電気主任技術者と協力し、発電所の安定運転と保安の確保、そして、クリーンエネルギーの提供を効率的に行ってきました。

< 当社のGET主な業務 >

- 当社から選任された高畑電気主任技術者を中心に
発電所の保安管理および3年毎の発電所安全管理審査対応
- 風力発電設備運転状況の遠隔監視および巡視点検
- 異常警報発信時の現場対応

しかしながら、2024年11月に実施した年次点検（18年）において、コンバータおよび増速機に致命的な不具合が見つかり、残念なことに2025年6月解体工事着手となります。

GET目標としていた2027年8月末までの稼働は達成となりませんが、風力発電事業で培った経験・知識・技能を知的財産として、新規業務に引き継いでいきます。

火力部

風車設備



安全管理審査



風車受変電設備の操作

Project No.11

灰カツ



【活動実績】

～コンクリートの配合にフライアッシュ利用で

ひび割れ抑制、長期強度増進、更に低炭化実現～

火力部



既存サイロをフライアッシュ専用サイロに改修し、環境配慮型生コンクリートを製造



新設フライアッシュサイロにて環境配慮型生コンクリートをPR



環境配慮型生コンクリートをアジテーター車でPR

CO₂排出量（参考データ）

材料	CO ₂ 排出量(kg/t)
セメント	757.9
高炉スラグ	24.1
フライアッシュ	17.9



2024年度実績

CO₂排出量 1,193万kg削減

Project No.12

ENERGY (電力・ガス) の安定供給に貢献



【活動実績】

燃料海事部

【活動実績】

○2024年度受入実績

A社 29隻／B社 15隻 (LNG10隻、LPG5隻)

2024年度は同日離着岸および分散受入の実績はなかったものの2月に2度の最強寒波の襲来で、2月初旬から強い冬型の気圧配置が続いた影響により、長期の滞船が発生。A社では、過去最長の12日間の入船遅延が発生し、A社とB社の各LNG船受入日程が過密化した。

○2025年度受入見通し

A社 31隻／B社 20隻 (LNG13隻、LPG7隻)

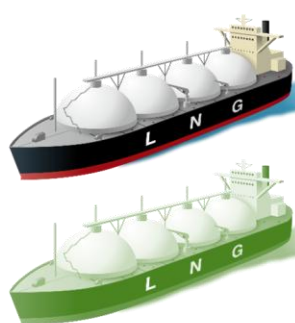


当社所有4,000馬力級
タグボート「かすが丸」



当社所有4,000馬力級
タグボート「やちほ丸」

LNG船やLPG船に対する離着岸サポート、長周期波による本船の船体動揺低減や港湾内のセキュリティ確保のためのエスコート業務を行うタグボート(港内に5隻配備)の運用方法について課題を整理。次年度に向け検討を進める。



	基地	1日目	2日目	3日目	4日目
①同日離着岸	A社				過去2回実績あり
	B社				
②分散受入 港内シフトによる バーンヤル受入の場合	A社				実績なし (対応可能)
	B社				
③同日受入	A社				実績なし (現状対応不可)
	B社				

Project No.13

海上輸送の低炭素化に挑戦



【活動実績】

燃料海事部



国土交通省内航船
省エネルギー格付制度

石炭内航輸送船 いせ みらい



本船航路
(約80mile/航海)

主要目	
総トン数	6,455トン
積載量	7,600トン
全長	118.86m
最大速力	12.7Kt
LNG艙容量	70m³

Project No.14

積地買主代理人のダイバーシティ & インクルージョン



【活動実績】

燃料海事部

積地位置図



積地LNG基地



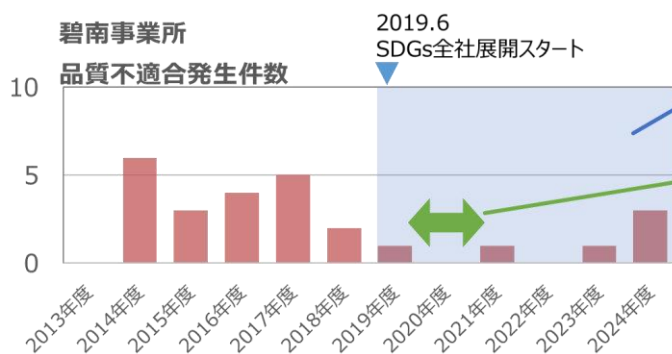
Project No.15

碧南事業所 品質不適合なしの継続により お客さま信頼度のさらなる向上を図ろう



【活動実績】

碧南事業所



70%減
 20件 (2013-2018) ▶ 6件 (2019-2024)

816日

<安全品質パトロールの実施>

- 石炭払出重機運転業務
- 石炭灰サンプリング業務
- 液化アンモニア受入作業



<事務所内に記録表を掲示>



今後も所員一丸となって品質不適合なしを継続する

Project No.16

「定時の文化」の定着プロジェクト



【活動実績】

環境統括部

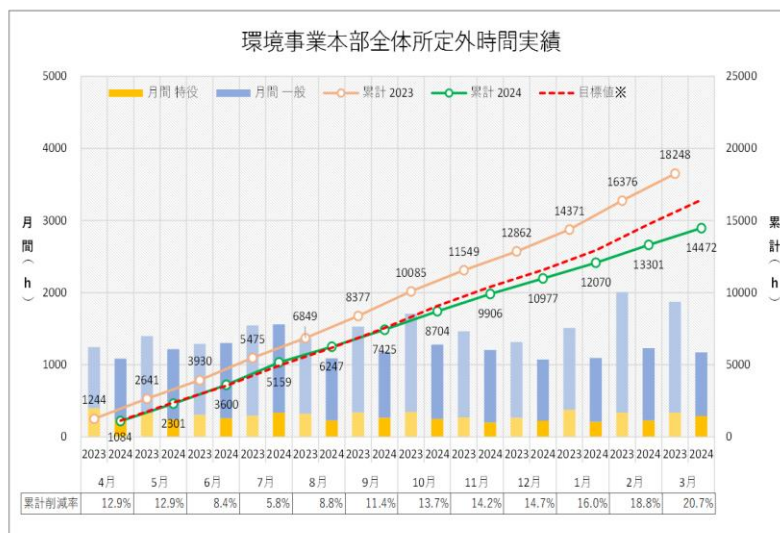
【活動実績】

◇時間外労働削減実績（2024年度末）
 目標：前年度比 10%削減相当
 実績：前年度比 20.7%削減 **目標達成**
 3,776時間削減

◇2024年度の時間外労働時間
 長期目標：平時において概ねゼロ水準
 実績：14,472時間 / 年
 1,206時間 / 月（平均）

◇まとめ

・取組み開始の2021年度末時点で、時間外労働時間は累計28,030時間だったが、2024年度末には上記の通りの実績となり、13,558時間の削減（▲48.4%）となった。
 ・「定時の文化」の定着状況グラフの見える化を行ったことで、当事者意識を持って取り組むことができた。
 ・業務改善等によって作業の効率化がすすみ、結果として時間外実績の削減につながった。
 ・アクションプランで実績を報告したことで、マネジメント層が状況を把握し、定時の文化を意識して取り組むことが出来た。
 ・今後も実績の見える化等を継続し、本部全体として10%以上の時間外実績削減を目指す。



Project No.17

屋上ビオトープ管理運営



【活動実績】

「みんなの屋上ビオトープ」を目指した取組みの歩み

環境技術センター

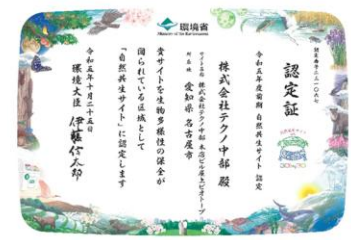
社員みんなで整備活動



社外との関係強化



「自然共生サイト」に認定

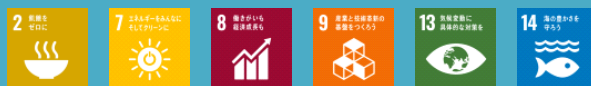


ウシモツゴ保全活動再開



Project No.18

海ぶどう



【活動実績】

環境統括部、企画部

～海ぶどう栽培技術検討 これまでのまとめ～

- ・2021年度から海ぶどうの栽培技術検討開始。
事業採算性に期待できる単位面積当たりの海ぶどう生産量が得られた。
- ・2022～2023年度の取り組みでは、事業化に向け栽培容積拡大と課題（藻類発生・冬季の枯死等）への対策を実施。
課題解決の糸口は見えたが、単位面積当たりの生産量は2021年度を下回る結果となった。
- ・2024年度は新たに藻類専門家をメンバーに加え、
2021年度手法の再現による海ぶどうが育つ条件の再確認と新たな角度からのアプローチで
安定的かつ効率的な海ぶどう生産の手法を探ったが、2021年度の実産量の再現ができなかった。
- ・先行して海ぶどうの屋内栽培技術を確立し特許を取得した業者が現れたという情報が入ったこともあり、
当社での海ぶどう養殖技術の開発を断念することとした。



Project No.19

環境・海事の技術で洋上風力を実現



【活動実績】

環境技術センター

- 【実務】カーボンニュートラルの達成に向け、環境に配慮した風車配置の提案、アセス手続の助勢を継続
- 【営業】新たな洋上風力事業者とのコネクション構築（未受託事業者への営業展開）

●新規洋上風力事業の調査・予測・評価結果をまとめた準備書を含むアセス図書の作成

【鳥類調査】

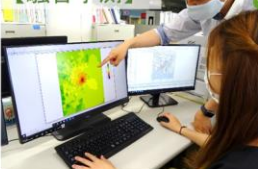
レーダーによる飛翔軌跡の観測



【フォトモンタージュ（合成写真）の作成】



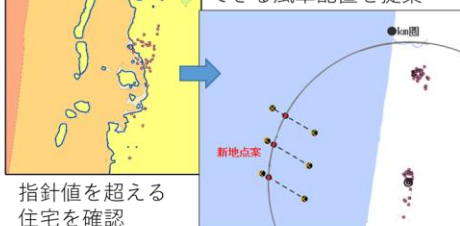
【騒音予測】



●環境影響を予測し、環境に配慮した風車レイアウト・送電ケーブルの陸揚げポイントを検討

【騒音の影響】

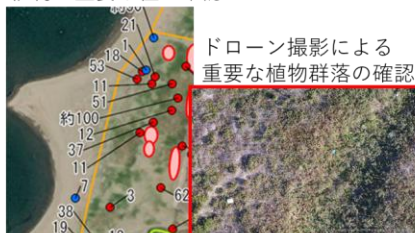
離隔距離を保つことのできる風車配置を提案



指針値を超える住宅を確認

【植物調査】

植物の重要な種を確認



ドローン撮影による重要な植物群落の確認

Project No.20

ドローン活用プロジェクト



【活動実績】

これまでの活動実績

電力施設管理への活用

- ・ 灰捨て地測量業務トライアル
- ・ 貯炭場空撮（堆積状況等）
- ・ 風力設備点検トライアル
- ・ 太陽光パネル点検トライアル

環境調査への活用

- ・ 海浜植物調査
- ・ 植生調査でのオルソ画像作成
- ・ 鳥類営巣地調査の実証実験

中電Gにおける協業

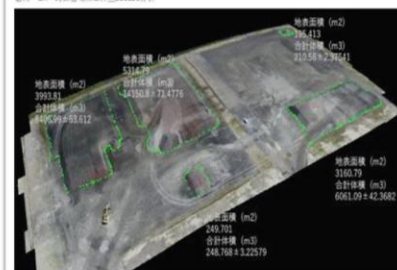
- ・ 中部精機株式会社と業務協力基本契約
- ・ 中部電力Gドローン利活用検討会参加

今後の展望

- ・ 中部電力Gドローン利活用検討会メンバーとして、
これまでに培ったテクノ中部の解析技術でG内外に貢献したい！

灰捨て地測量業務トライアル 【碧南火力4工区灰捨て地】

碧南火力4工区灰捨て地測量結果



環境 新規活用業務 【海浜植物調査風景】



環境技術センター

Project No.21

プロジェクトGENE



活動実績

～科学の力で豊かな社会を～

環境技術センター

環境DNA分析

樹木の害虫クビアカツヤカミキリの調査



水産物の品質証明

アサリサノリの純度分析



遺伝子解析（種同定）

未確認生物の解析（TV放映）



日本樹木医会長野県支部での講演

環境DNA分析による外来カミキリの生息判定について



Project No.22

クロダイ食害対策プロジェクト



【活動実績】

～クロダイによるノリ等の食害防止技術の開発～

環境技術センター



食害防除網を用いた対策試験



水中カメラ等を用いたノリ等の食害の実態調査



Project No.23

アスベスト調査ならお任せ下さい！

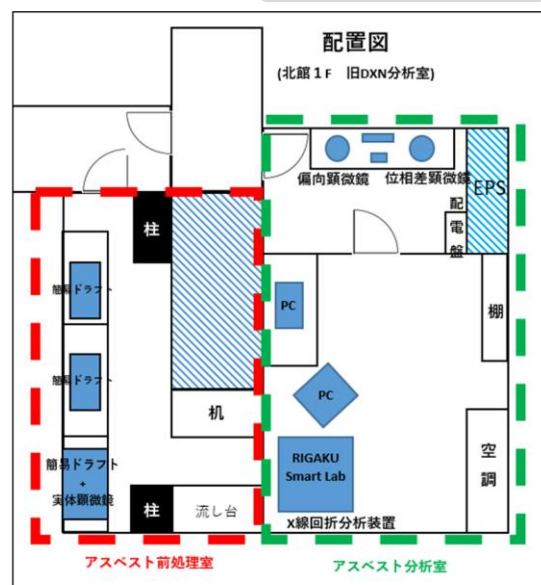


【活動実績】

測定分析センター



エックス線回折装置の購入



前処理室、分析室の整備

Project No.24

PCB機器の適正処分



【活動実績】

測定分析センター



試料の前処理解作業



前処理試料を分析する
GC-MS



PCB廃棄物処分支援
(搬出状況)

Project No.25

唯一無二の原子力防災体制を構築



【活動実績】

原子力部

静岡県防災資機材の管理



2020年度から毎年行っている「静岡県が整備した原子力防災資機材の管理」を2024年度も千代田テクノル殿とテクノ中部で実施した。
回数を追うごとに着実に自治体と良好な関係を築き上げている。

2024年度実績
〈配備場所〉静岡県中部地域局、静岡県西部地域局、御前崎市役所など
計 15ヶ所
〈実施期間〉2024.10～2025.2
〈資機材数〉各場所 65種類

静岡県原子力防災訓練参加

静岡県が実施している防災訓練に2022年度から参加(2021年度及び2023年度は参加予定も中止)し、2024年度も千代田テクノル殿は車両検査装置の設置補助、テクノ中部は中部電力訓練参加者への防災教育の支援を行った。



訓練参加住民への教育の検討

2022年度からは、静岡県が主催する原子力防災訓練に参加する住民に原子力防災への理解を深めていただくことを目的とする新たな教育の実施を静岡県へ提案するため、千代田テクノル殿と検討を重ねてきた。

2024年度検討実績

〈日 時〉2024年4月17日(水) 9:30～10:30

〈参加者〉千代田テクノル殿
小菅浜岡営業所長、森本営業課長(現営業部長)、橋本担当
テクノ中部 青山、曾根、榛葉、植田

〈日 時〉2024年5月30日(水) 16:00～17:00

〈参加者〉千代田テクノル殿 小菅浜岡営業所長
テクノ中部 青山

Project No.26

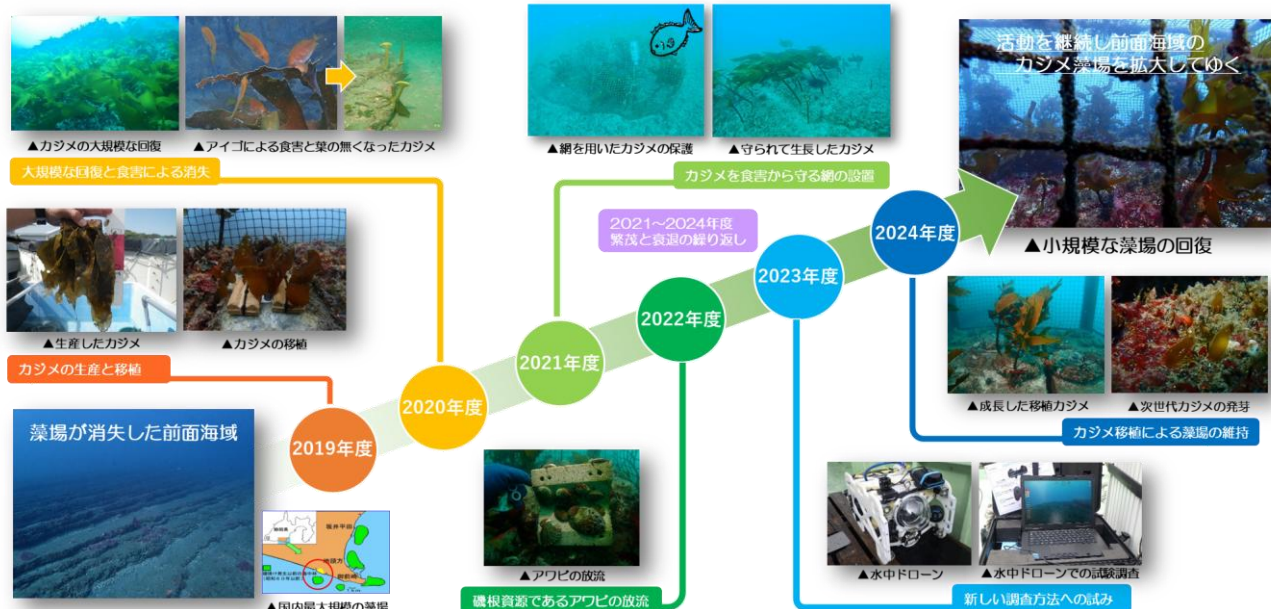
浜岡前面海域・豊かな海 藻場と磯根資源の回復を目指して



【活動実績】

浜岡事業所

カジメ藻場を拡大させ磯根資源の回復を目指す（2019年度～2024年度までの取り組み）



Project No.27

浜岡原子力発電所で発生する放射性廃棄物の削減に取り組み、クリーンなエネルギーである原子力発電の再稼働に貢献しよう！



【活動実績】

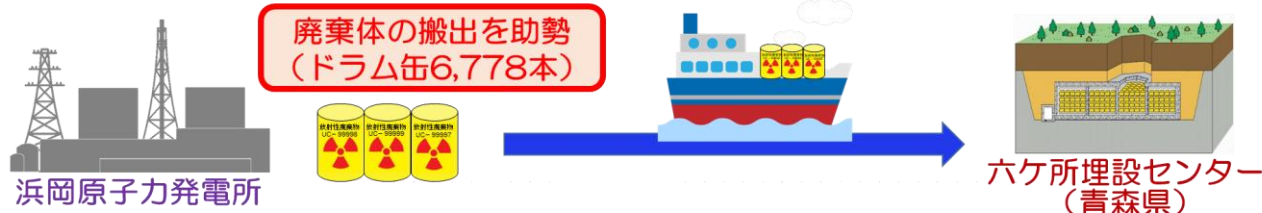
浜岡事業所

業務の確実な遂行による放射性廃棄物の削減に貢献（2019年度～2024年度までの取り組み）

クリアランス処理業務の確実な遂行



廃棄体の製作・検査・管理業務の確実な遂行



SDGs経営の実現に向けて

当社では、これまでさまざまな活動を通じてSDGs活動に取り組んで参りましたが、この活動を通じて、当社の事業活動は社会課題の解決に貢献するSDGs活動そのものであるという意識が醸成されてきました。

そこで、2024年度は、これまでの活動の総括ならびに今後の活動への移行期間と位置づけ、本業の中でSDGs活動の進捗管理をしていくという方針に則り、SDGs活動計画と各部署のアクションプラン（業務運営計画）とを一本化いたしました。2025年度は、新たな方針に基づくSDGs活動の初年度にあたることから、各部署のアクションプランの進捗状況の確認を通じて、SDGs活動そのものの取り組み状況を評価してまいります。

今後は、エネルギー分野における新技術への取り組みや環境事業の深化、パートナー企業との一層の協業、働き方改革の重層な展開など、テクノ中部がさらなる高みを目指すために必要な様々な要素を磨きこみ経営に織り込んで参ります。そして、これらを包含した2030年までの達成目標ならびにロードマップを明確化することで、全社員が一丸となって持続可能な社会の実現に貢献するという意識をさらに高め、SDGs経営を実現してまいります。





弊社ホームページ

〒455-8512 愛知県名古屋市港区大江町3番12
TEL : 052-614-7171 (代表)



地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています